



平成 29 年 1 月 20 日

各 位

会社名 日本水産株式会社
代表者名 代表取締役社長執行役員 細見 典男
コード番号 1332
問合せ先 経営企画 IR 室長 根本 喜一
(TEL. 03-6206-7037)

(訂正)「平成 24 年 3 月期第 3 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正について

当社は、平成 24 年 2 月 3 日に開示いたしました「平成 24 年 3 月期第 3 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部を訂正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 訂正理由及び経緯

訂正の理由及び経緯につきましては、平成 29 年 1 月 20 日付「過年度に係る有価証券報告書等の訂正報告書の提出及び過年度に係る決算短信等の訂正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 訂正箇所

訂正箇所が多数に及ぶため、訂正後及び訂正前の全文をそれぞれ添付し、訂正箇所には_____を付して表示しております。

以上

【訂正後】



平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月3日

上場取引所 東 大

上場会社名 日本水産株式会社
 コード番号 1332 URL <http://www.nissui.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 垣添 直也

問合せ先責任者 (役職名) 法務部長 (氏名) 竹内 康訓

TEL 03-3244-7181

四半期報告書提出予定日 平成24年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
24年3月期第3四半期	409,505	10.6	11,203	43.5	9,312	65.0	4,508	105.7
23年3月期第3四半期	370,338	1.3	7,806	16.3	5,644	△9.7	2,192	△0.2

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 △870百万円 (—％) 23年3月期第3四半期 △2,552百万円 (—％)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	16.32	—
23年3月期第3四半期	7.93	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	％	百万円	％	％
24年3月期第3四半期	417,506		68,536		12.0
23年3月期	401,185		73,214		13.2

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 50,228百万円 23年3月期 52,846百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
24年3月期	—	5.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(％表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	525,000	6.2	12,000	48.4	11,000	75.3	5,500	—	19.91

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期3Q	277,210,277 株	23年3月期	277,210,277 株
② 期末自己株式数	24年3月期3Q	918,517 株	23年3月期	915,222 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期3Q	276,293,328 株	23年3月期3Q	276,303,371 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】P.3「連結業績予想に関する定性的情報」をご参照ください。
・決算補足説明資料はTDnetで同日開示しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P 2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	P 2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	P 3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	P 3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	P 3
3. 四半期連結財務諸表	P 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P 6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	P 6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	P 7
(3) 継続企業の前提に関する注記	P 8
(4) セグメント情報等	P 8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	P 8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響による停滞から生産活動や個人消費などが回復基調にあるものの、長期化する円高やタイの洪水などによる影響に加え、電力供給への懸念や放射性物質への不安などもあり、依然として不透明な状況が続いております。

世界経済につきましては、アジアでは中国で経済成長が続いているものの伸びがやや鈍化し、米国では失業率の高止まりなどの影響があるものの個人消費や設備投資は回復の兆しがあります。欧州では一部の国々の財政問題がグローバルな金融システムに対する懸念を高めています。

このような状況下で当第3四半期連結累計期間の営業成績は、売上高は4,095億5百万円（前年同期比391億66百万円増）、営業利益は112億3百万円（前年同期比33億97百万円増）、経常利益は93億12百万円（前年同期比36億67百万円増）、第3四半期純利益は45億8百万円（前年同期比23億16百万円増）となりました。

事業の営業の概況は次のとおりであります。

①水産事業

水産事業につきましては、漁撈事業、養殖事業、加工・商事事業を営んでおります。

<当第3四半期連結累計期間の概況>

水産事業では売上高は1,724億36百万円（前年同期比335億93百万円増）となり、営業利益は36億円（前年同期比29億13百万円増）となりました。

漁撈事業：前年同期比で増収、減益となりました。

- ・ 南米では、チリにおいて主要魚種の漁獲枠が減少し、アルゼンチンにおいて漁獲は低調に推移しました。

養殖事業：前年同期比で増収、増益となりました。

- ・ 日本では、ぶり養殖事業において販売数量が増加し、まぐろ養殖事業において魚価の上昇がありました。
- ・ アジアでは、インドネシアのえび養殖事業の改善が進みませんでした。
- ・ 南米では、チリの鮭鱒養殖事業で販売数量が増加し魚価も堅調に推移しました。

加工・商事事業：前年同期比で増収、増益となりました。

- ・ 日本では、当社においてすりみ価格の下落がありましたが、鮭鱒、まぐろ、かになどの販売は順調に推移しました。
- ・ 北米では、すけそうだらの漁獲枠が増加し、助子の販売も順調に推移しましたが、漁期後半に不漁となりました。
- ・ 南米では、ネチューノ・インターナショナル社（注1）が前第3四半期より連結子会社となりましたが、事業構造の改革が遅れ大幅な減益となりました。
- ・ ヨーロッパでは、ノルディック社（注2）が前第3四半期より連結子会社となり、業績は順調に推移しました。

②食品事業

食品事業につきましては、加工事業およびチルド事業を営んでおります。

<当第3四半期連結累計期間の概況>

食品事業では売上高は1,971億9百万円（前年同期比36億40百万円増）となり、営業利益は33億97百万円（前年同期比1億39百万円減）となりました。

加工事業：前年同期比で増収、減益となりました。

- ・ 日本では、東日本大震災により女川工場などが被災しましたが、他の工場への生産移管を進め、商品供給の復旧に努めました。内食、中食の需要が高まる中で家庭用冷凍食品ではちゃんぽん、業務用冷凍食品ではチキン加工品などの販売が好調に推移しましたが、魚肉ソーセージは販売競争の激化により減収となりました。
- ・ 北米では、業務用冷凍食品会社が長引く外食需要の低迷により販売が低調に推移しました。
- ・ アジアでは、中国の食品加工会社において、生産数量が大幅に落ち込みました。

チルド事業：前年同期比で増収、増益となりました。

- ・ コンビニエンスストアの利便性が評価されたこともあり、麺類やチルド弁当の販売が伸長し増収となりました。

③ファイン事業

ファイン事業につきましては、医薬原料、機能性原料（注3）、機能性食品、および医薬品、診断薬の生産・販売を行っております。

<当第3四半期連結累計期間の概況>

ファイン事業では売上高は196億57百万円（前年同期比6億15百万円増）となり、営業利益は50億61百万円（前年同期比7億1百万円増）となりました。

ファイン事業：前年同期比で増収、増益となりました。

- ・ 日本では、当社において、医薬原料および機能性原料の販売が順調に推移しました。また、連結子会社の日水製薬株式会社の診断薬事業も順調に推移しました。

④物流事業

物流事業につきましては、冷蔵倉庫事業、配送事業、通関事業を営んでおります。

<当第3四半期連結累計期間の概況>

物流事業では売上高は93億89百万円（前年同期比4億73百万円増）となり、営業利益は13億5百万円（前年同期比70百万円増）となりました。

物流事業：前年同期比で増収、増益となりました。

- ・ 冷蔵倉庫事業において東日本大震災の影響を受け東北エリアは減収となりましたが、首都圏エリアでは在庫量が増加し全体では増収となりました。配送事業は順調に推移し増収となりました。

(注1) 平成22年5月に設立し同年9月より事業を開始した、ブラジル連邦共和国ペルナンブコ州レシフェ市に本社を置く養殖事業、水産調理冷凍食品の製造・販売を主な事業とする会社。

(注2) デンマーク国ヒルトシャルスに本社を置き、スペイン、ポルトガルを除くヨーロッパ全土で水産品・水産加工品の販売を行っております。当社の持分法適用会社であったが、平成22年8月に全株式を取得し連結子会社としました。

(注3) 主に食品素材や化粧品素材向けとなるEPA・DHA、グルコサミン、コレステロール、オレンジラフィー油など。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の状況

資産

流動資産は、前連結会計年度末に比べて14.5%増加し、2,186億53百万円となりました。これは受取手形及び売掛金が150億21百万円、仕掛品が39億74百万円増加したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて5.4%減少し、1,988億53百万円となりました。この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて4.1%増加し、4,175億6百万円となりました。

負債

流動負債は、前連結会計年度末に比べて15.1%増加し、2,188億69百万円となりました。これは短期借入金が181億50百万円増加したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて5.7%減少し、1,301億0百万円となりました。これは長期借入金が73億2百万円減少したことなどによります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて6.4%増加し、3,489億69百万円となりました。

純資産

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて46億77百万円減少し、685億36百万円となりました。これは主として四半期純利益の計上により利益剰余金が45億8百万円増加、為替換算調整勘定が36億25百万円減少、配当金の支払いにより利益剰余金が27億64百万円減少、少数株主持分が20億60百万円減少したことなどによります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

現時点における通期業績予想につきましては、平成23年5月10日公表の業績予想からの変更はありませんが、今後の業績推移に応じて修正の必要が生じた場合は速やかに公表いたします。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,962	10,863
受取手形及び売掛金	64,104	79,125
商品及び製品	48,573	49,597
仕掛品	11,552	15,527
原材料及び貯蔵品	21,619	20,946
その他	35,661	43,286
貸倒引当金	△526	△693
流動資産合計	190,947	218,653
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	50,399	48,205
その他(純額)	62,801	60,520
有形固定資産合計	113,200	108,725
無形固定資産		
のれん	4,554	3,627
その他	13,378	13,715
無形固定資産合計	17,932	17,342
投資その他の資産		
投資有価証券	59,056	56,470
その他	23,460	19,714
貸倒引当金	△3,412	△3,399
投資その他の資産合計	79,104	72,784
固定資産合計	210,237	198,853
資産合計	401,185	417,506

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	29,044	35,210
短期借入金	128,588	146,738
未払法人税等	1,529	1,799
未払費用	19,636	24,983
引当金	3,852	1,457
その他	7,424	8,679
流動負債合計	190,075	218,869
固定負債		
長期借入金	118,740	111,438
退職給付引当金	12,949	12,216
その他の引当金	231	222
その他	5,974	6,222
固定負債合計	137,895	130,100
負債合計	327,970	348,969
純資産の部		
株主資本		
資本金	23,729	23,729
資本剰余金	13,758	13,758
利益剰余金	27,512	29,256
自己株式	△255	△256
株主資本合計	64,745	66,488
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△641	△1,328
繰延ヘッジ損益	△321	△460
為替換算調整勘定	△9,425	△13,050
在外子会社の年金債務調整額	△1,510	△1,420
その他の包括利益累計額合計	△11,899	△16,259
少数株主持分	20,368	18,308
純資産合計	73,214	68,536
負債純資産合計	401,185	417,506

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	370,338	409,505
売上原価	283,692	315,580
売上総利益	86,646	93,924
販売費及び一般管理費	78,840	82,720
営業利益	7,806	11,203
営業外収益		
受取利息	439	407
受取配当金	508	628
持分法による投資利益	989	672
雑収入	571	527
営業外収益合計	2,509	2,236
営業外費用		
支払利息	2,599	2,799
為替差損	1,580	934
雑支出	490	394
営業外費用合計	4,670	4,128
経常利益	5,644	9,312
特別利益		
固定資産売却益	429	73
貸倒引当金戻入額	167	—
退職給付制度改定益	—	199
段階取得に係る差益	238	—
特別利益合計	834	272
特別損失		
固定資産処分損	452	344
投資有価証券評価損	49	995
災害による損失	—	304
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	387	—
特別損失合計	889	1,644
税金等調整前四半期純利益	5,590	7,940
法人税、住民税及び事業税	2,627	2,723
法人税等調整額	△168	758
法人税等合計	2,458	3,482
少数株主損益調整前四半期純利益	3,131	4,458
少数株主利益又は少数株主損失(△)	939	△49
四半期純利益	2,192	4,508

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	3,131	4,458
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,289	△784
繰延ヘッジ損益	△164	△108
為替換算調整勘定	<u>△2,990</u>	<u>△3,861</u>
在外子会社の年金債務調整額	111	89
持分法適用会社に対する持分相当額	△1,351	△662
その他の包括利益合計	<u>△5,683</u>	<u>△5,328</u>
四半期包括利益	<u>△2,552</u>	<u>△870</u>
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	<u>△3,216</u>	<u>147</u>
少数株主に係る四半期包括利益	663	△1,018

- (3) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	水産事業	食品事業	ファイン 事業	物流事業	計				
売上高									
外部顧客に対する売上高	138,842	193,469	19,042	8,915	360,270	10,068	370,338	—	370,338
セグメント間の内部売上高 又は振替高	7,643	425	133	5,065	13,268	2,153	15,421	△15,421	—
計	146,486	193,894	19,176	13,981	373,538	12,222	385,760	△15,421	370,338
セグメント利益	686	3,536	4,360	1,234	9,818	397	10,216	△2,409	7,806

(注) 1. 「その他」は、報告セグメントに含まれない船舶の建造・修繕やエンジニアリング等が対象となります。

2. セグメント利益の調整額△2,409百万円には、セグメント間取引消去43百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△2,453百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	水産事業	食品事業	ファイン 事業	物流事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	172,436	197,109	19,657	9,389	398,592	10,912	409,505	—	409,505
セグメント間の内部売上高 又は振替高	7,783	786	216	5,388	14,174	2,090	16,265	△16,265	—
計	180,219	197,896	19,874	14,777	412,767	13,003	425,770	△16,265	409,505
セグメント利益	3,600	3,397	5,061	1,305	13,365	511	13,876	△2,673	11,203

(注) 1. 「その他」は、報告セグメントに含まれない船舶の建造・修繕やエンジニアリング等が対象となります。

2. セグメント利益の調整額△2,673百万円には、セグメント間取引消去58百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△2,731百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

【訂正前】



平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月3日

上場取引所 東 大

上場会社名 日本水産株式会社
 コード番号 1332 URL <http://www.nissui.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 垣添 直也

問合せ先責任者 (役職名) 法務部長 (氏名) 竹内 康訓

TEL 03-3244-7181

四半期報告書提出予定日 平成24年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
24年3月期第3四半期	409,505	10.6	11,203	43.5	9,312	65.0	4,508	105.7
23年3月期第3四半期	370,338	1.3	7,806	16.3	5,644	△9.7	2,192	△0.2

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 △727百万円 (—％) 23年3月期第3四半期 △2,330百万円 (—％)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	16.32	—
23年3月期第3四半期	7.93	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	％	百万円	％	％
24年3月期第3四半期	415,962		66,272		11.5
23年3月期	399,718		70,807		12.6

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 47,964百万円 23年3月期 50,438百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
24年3月期	—	5.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(％表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	525,000	6.2	12,000	48.4	11,000	75.3	5,500	—	19.91

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期3Q	277,210,277 株	23年3月期	277,210,277 株
② 期末自己株式数	24年3月期3Q	918,517 株	23年3月期	915,222 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期3Q	276,293,328 株	23年3月期3Q	276,303,371 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】P.3「連結業績予想に関する定性的情報」をご参照ください。
・決算補足説明資料はTDnetで同日開示しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P 2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	P 2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	P 3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	P 3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	P 3
3. 四半期連結財務諸表	P 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P 6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	P 6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	P 7
(3) 継続企業の前提に関する注記	P 8
(4) セグメント情報等	P 8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	P 8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響による停滞から生産活動や個人消費などが回復基調にあるものの、長期化する円高やタイの洪水などによる影響に加え、電力供給への懸念や放射性物質への不安などもあり、依然として不透明な状況が続いております。

世界経済につきましては、アジアでは中国で経済成長が続いているものの伸びがやや鈍化し、米国では失業率の高止まりなどの影響があるものの個人消費や設備投資は回復の兆しがあります。欧州では一部の国々の財政問題がグローバルな金融システムに対する懸念を高めています。

このような状況下で当第3四半期連結累計期間の営業成績は、売上高は4,095億5百万円（前年同期比391億66百万円増）、営業利益は112億3百万円（前年同期比33億97百万円増）、経常利益は93億12百万円（前年同期比36億67百万円増）、第3四半期純利益は45億8百万円（前年同期比23億16百万円増）となりました。

事業の営業の概況は次のとおりであります。

①水産事業

水産事業につきましては、漁撈事業、養殖事業、加工・商事事業を営んでおります。

<当第3四半期連結累計期間の概況>

水産事業では売上高は1,724億36百万円（前年同期比335億93百万円増）となり、営業利益は36億円（前年同期比29億13百万円増）となりました。

漁撈事業：前年同期比で増収、減益となりました。

- ・ 南米では、チリにおいて主要魚種の漁獲枠が減少し、アルゼンチンにおいて漁獲は低調に推移しました。

養殖事業：前年同期比で増収、増益となりました。

- ・ 日本では、ぶり養殖事業において販売数量が増加し、まぐろ養殖事業において魚価の上昇がありました。
- ・ アジアでは、インドネシアのえび養殖事業の改善が進みませんでした。
- ・ 南米では、チリの鮭鱒養殖事業で販売数量が増加し魚価も堅調に推移しました。

加工・商事事業：前年同期比で増収、増益となりました。

- ・ 日本では、当社においてすりみ価格の下落がありましたが、鮭鱒、まぐろ、かになどの販売は順調に推移しました。
- ・ 北米では、すけそうだらの漁獲枠が増加し、助子の販売も順調に推移しましたが、漁期後半に不漁となりました。
- ・ 南米では、ネチューノ・インターナショナル社（注1）が前第3四半期より連結子会社となりましたが、事業構造の改革が遅れ大幅な減益となりました。
- ・ ヨーロッパでは、ノルディック社（注2）が前第3四半期より連結子会社となり、業績は順調に推移しました。

②食品事業

食品事業につきましては、加工事業およびチルド事業を営んでおります。

<当第3四半期連結累計期間の概況>

食品事業では売上高は1,971億9百万円（前年同期比36億40百万円増）となり、営業利益は33億97百万円（前年同期比1億39百万円減）となりました。

加工事業：前年同期比で増収、減益となりました。

- ・ 日本では、東日本大震災により女川工場などが被災しましたが、他の工場への生産移管を進め、商品供給の復旧に努めました。内食、中食の需要が高まる中で家庭用冷凍食品ではちゃんぽん、業務用冷凍食品ではチキン加工品などの販売が好調に推移しましたが、魚肉ソーセージは販売競争の激化により減収となりました。
- ・ 北米では、業務用冷凍食品会社が長引く外食需要の低迷により販売が低調に推移しました。
- ・ アジアでは、中国の食品加工会社において、生産数量が大幅に落ち込みました。

チルド事業：前年同期比で増収、増益となりました。

- ・ コンビニエンスストアの利便性が評価されたこともあり、麺類やチルド弁当の販売が伸長し増収となりました。

③ファイン事業

ファイン事業につきましては、医薬原料、機能性原料（注3）、機能性食品、および医薬品、診断薬の生産・販売を行っております。

<当第3四半期連結累計期間の概況>

ファイン事業では売上高は196億57百万円（前年同期比6億15百万円増）となり、営業利益は50億61百万円（前年同期比7億1百万円増）となりました。

ファイン事業：前年同期比で増収、増益となりました。

- ・ 日本では、当社において、医薬原料および機能性原料の販売が順調に推移しました。また、連結子会社の日水製薬株式会社の診断薬事業も順調に推移しました。

④物流事業

物流事業につきましては、冷蔵倉庫事業、配送事業、通関事業を営んでおります。

<当第3四半期連結累計期間の概況>

物流事業では売上高は93億89百万円（前年同期比4億73百万円増）となり、営業利益は13億5百万円（前年同期比70百万円増）となりました。

物流事業：前年同期比で増収、増益となりました。

- ・ 冷蔵倉庫事業において東日本大震災の影響を受け東北エリアは減収となりましたが、首都圏エリアでは在庫量が増加し全体では増収となりました。配送事業は順調に推移し増収となりました。

(注1) 平成22年5月に設立し同年9月より事業を開始した、ブラジル連邦共和国ペルナンブコ州レシフェ市に本社を置く養殖事業、水産調理冷凍食品の製造・販売を主な事業とする会社。

(注2) デンマーク国ヒルトシャルスに本社を置き、スペイン、ポルトガルを除くヨーロッパ全土で水産品・水産加工品の販売を行っております。当社の持分法適用会社であったが、平成22年8月に全株式を取得し連結子会社としました。

(注3) 主に食品素材や化粧品素材向けとなるEPA・DHA、グルコサミン、コレステロール、オレンジラフィア油など。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の状況

資産

流動資産は、前連結会計年度末に比べて14.5%増加し、2,186億53百万円となりました。これは受取手形及び売掛金が150億21百万円、仕掛品が39億74百万円増加したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて5.5%減少し、1,973億8百万円となりました。この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて4.1%増加し、4,159億62百万円となりました。

負債

流動負債は、前連結会計年度末に比べて15.1%増加し、2,188億69百万円となりました。これは短期借入金が181億50百万円増加したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて5.8%減少し、1,308億20百万円となりました。これは長期借入金が73億2百万円減少したことなどによります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて6.3%増加し、3,496億89百万円となりました。

純資産

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて45億34百万円減少し、662億72百万円となりました。これは主として四半期純利益の計上により利益剰余金が45億8百万円増加、為替換算調整勘定が34億82百万円減少、配当金の支払いにより利益剰余金が27億64百万円減少、少数株主持分が20億60百万円減少したことなどによります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

現時点における通期業績予想につきましては、平成23年5月10日公表の業績予想からの変更はありませんが、今後の業績推移に応じて修正の必要が生じた場合は速やかに公表いたします。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,962	10,863
受取手形及び売掛金	64,104	79,125
商品及び製品	48,573	49,597
仕掛品	11,552	15,527
原材料及び貯蔵品	21,619	20,946
その他	35,661	43,286
貸倒引当金	△526	△693
流動資産合計	190,947	218,653
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	50,399	48,205
その他(純額)	62,801	60,520
有形固定資産合計	113,200	108,725
無形固定資産		
のれん	4,554	3,627
その他	13,378	13,715
無形固定資産合計	17,932	17,342
投資その他の資産		
投資有価証券	59,056	56,470
その他	21,992	18,169
貸倒引当金	△3,412	△3,399
投資その他の資産合計	77,637	71,240
固定資産合計	208,770	197,308
資産合計	399,718	415,962

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	29,044	35,210
短期借入金	128,588	146,738
未払法人税等	1,529	1,799
未払費用	19,636	24,983
引当金	3,852	1,457
その他	7,424	8,679
流動負債合計	190,075	218,869
固定負債		
長期借入金	118,740	111,438
退職給付引当金	12,949	12,216
その他の引当金	231	222
その他	6,915	6,943
固定負債合計	138,835	130,820
負債合計	328,911	349,689
純資産の部		
株主資本		
資本金	23,729	23,729
資本剰余金	13,758	13,758
利益剰余金	24,325	26,069
自己株式	△255	△256
株主資本合計	61,557	63,300
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△641	△1,328
繰延ヘッジ損益	△321	△460
為替換算調整勘定	△8,645	△12,128
在外子会社の年金債務調整額	△1,510	△1,420
その他の包括利益累計額合計	△11,119	△15,336
少数株主持分	20,368	18,308
純資産合計	70,807	66,272
負債純資産合計	399,718	415,962

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	370,338	409,505
売上原価	283,692	315,580
売上総利益	86,646	93,924
販売費及び一般管理費	78,840	82,720
営業利益	7,806	11,203
営業外収益		
受取利息	439	407
受取配当金	508	628
持分法による投資利益	989	672
雑収入	571	527
営業外収益合計	2,509	2,236
営業外費用		
支払利息	2,599	2,799
為替差損	1,580	934
雑支出	490	394
営業外費用合計	4,670	4,128
経常利益	5,644	9,312
特別利益		
固定資産売却益	429	73
貸倒引当金戻入額	167	—
退職給付制度改定益	—	199
段階取得に係る差益	238	—
特別利益合計	834	272
特別損失		
固定資産処分損	452	344
投資有価証券評価損	49	995
災害による損失	—	304
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	387	—
特別損失合計	889	1,644
税金等調整前四半期純利益	5,590	7,940
法人税、住民税及び事業税	2,627	2,723
法人税等調整額	△168	758
法人税等合計	2,458	3,482
少数株主損益調整前四半期純利益	3,131	4,458
少数株主利益又は少数株主損失 (△)	939	△49
四半期純利益	2,192	4,508

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	3,131	4,458
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,289	△784
繰延ヘッジ損益	△164	△108
為替換算調整勘定	<u>△2,768</u>	<u>△3,719</u>
在外子会社の年金債務調整額	111	89
持分法適用会社に対する持分相当額	△1,351	△662
その他の包括利益合計	<u>△5,461</u>	<u>△5,185</u>
四半期包括利益	<u>△2,330</u>	<u>△727</u>
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	<u>△2,994</u>	<u>290</u>
少数株主に係る四半期包括利益	663	△1,018

- (3) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	水産事業	食品事業	ファイン 事業	物流事業	計				
売上高									
外部顧客に対する売上高	138,842	193,469	19,042	8,915	360,270	10,068	370,338	—	370,338
セグメント間の内部売上高 又は振替高	7,643	425	133	5,065	13,268	2,153	15,421	△15,421	—
計	146,486	193,894	19,176	13,981	373,538	12,222	385,760	△15,421	370,338
セグメント利益	686	3,536	4,360	1,234	9,818	397	10,216	△2,409	7,806

(注) 1. 「その他」は、報告セグメントに含まれない船舶の建造・修繕やエンジニアリング等が対象となります。

2. セグメント利益の調整額△2,409百万円には、セグメント間取引消去43百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△2,453百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	水産事業	食品事業	ファイン 事業	物流事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	172,436	197,109	19,657	9,389	398,592	10,912	409,505	—	409,505
セグメント間の内部売上高 又は振替高	7,783	786	216	5,388	14,174	2,090	16,265	△16,265	—
計	180,219	197,896	19,874	14,777	412,767	13,003	425,770	△16,265	409,505
セグメント利益	3,600	3,397	5,061	1,305	13,365	511	13,876	△2,673	11,203

(注) 1. 「その他」は、報告セグメントに含まれない船舶の建造・修繕やエンジニアリング等が対象となります。

2. セグメント利益の調整額△2,673百万円には、セグメント間取引消去58百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△2,731百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。